

E 定年退職者が入つてくれば良いのではないのか。それが自然だ。

F そういう意味では、そう悲観したものでもない。何人かそういう人たちが入会してきている。

C 若者は大抵務めがあるから、日曜日には休みたいだろう。家族連れて参加するとなると、それ向きの作業を作らねばならない。

D その人達が、我々の活動の後を継ぐということには、すぐにはならない。

A 一見、順調なようにあるが、一つだけ課題が解決されていない。それは、高齢化という問題。ここ数年、ずっとその問題の出口を探して居る。

B それは本当。毎年平均年齢が一つ上がるようでは不安がある。

今年のさくら友の会の方向を話し合う。司会:さくら友の会が発足して7年、桜の維持管理作業、昼食、さくらえ桜研修旅行、バーベキューなどの年中行事も定着しました。シャクナゲの小径、もみじ谷の整備など、手がけた事業も一つ一つ順調なようですが、今年はどういう計画でしょ。

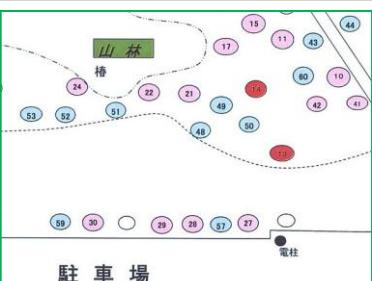
高齡化問題

た。今度はその一本一本の幹周りなどを計測して、成長記録を作製していくこうとしている。

司会 それは、膨大な作業になりますね。

C ここまでやる必要があるだろうか？ それはもう、ボランティアの域を越えていふと言ふ意見があつて二つに分かれている。

E 仕事の意味と言うか、価値が分からぬ



司会それについては、実際に毎年の会員の平均年齢を出してもらうことにして次の問題に移りましょう。

C その人の性格にも依るのじやないだろうか。植物の好きな人は、毎日黙々と水をやつたり、虫を取つたり、面倒を見ている。気長に楽しみにして待つ能力がある。自分はそんな根気はない。すぐ結果が出るようなものでないとダメ。そういう人間も居る。

老人よ 大志を抱け

D ますます高齢化が進む、これから世の中は、シルバーパワーの活用が、国発展の鍵を握る。年金暮らしになつても、若者と競合しないところで何か有効な働きをしなければならないとますます思う。

A 人件費を考慮していくは採算に合わない基礎研究とか、ベンチャー企業の種になる研究とか。

A 深坂の森と桜だけでは勿体ない。

B 何かやらねば。

C 何か具体的な案は有りますか。

F この近くにも休耕田が一杯ありますね。此れだけでも何とか生かす方法はないものか。

役企業人 役所などで地域興を考えていくことも出る。

A同じことを長くやつていると退屈する。進歩や変化がないと衰退する。だんだん高度化、専門化する方向に行きたい人と、健康維持活動みたいな認識の人とがあるのは当然だろう。

B両方あつて良いのではないか。専門化したい人は、同志を募つて進めば良い。それもマイペースなのだから。そこからは、何か生産的なものが生まれるかもしない。

スタートした。互いに牽制しながら、走っていたが、そろそろマイペースで走りたくなって来た。先頭集団のスピードについて行けない人が出てくる。

他方、先頭集団でも、引つ張る人は脱け出そうとする。列が継長になるのは自然なことかも知れない。

E面白い考えですね。これは恐らくあらゆるボランティアグループで経験される共通の問題だと思う。

F福島の手抜除洗作業もあきれるが、あれなんかでも、こうすれば早く安く除洗ができると言う方法を真剣に追求すれば、そういう面で先進国になれる。貴重な実践の場なのに、日本の信用を高めるのではなく、失わせてばかり居る。高濃度の放射性廃棄物の処理の方法を真剣に取り組んで確立すれば、世界の最先端を行くことができるのに。

F 深坂に毎日出勤しても
にはならないが、農業なら
少とも金になるかもしけ
い。
C いやいや、持ち出しだ
う。
司会 Fさんは休耕田で何
しますか?
F 実を言うと、自分は赤
根の新品種を自分で開発し
栽培している。赤松（セキ
ヨウ）と言う名前もつけた
味も良いので、皆がやると

い。うなら、種子を提供しても
C へえ、そんな具体案があるのですか？
B 一緒にやる人があれば
つてもよい。
C しかし、本来の維持管
活動はやって貰わないと
る。
A 深坂の森から出ると、
を広げすぎるということも
る。それも、皆の意欲次第
はないだろうか。やろうと
えば、漁業、農業、大学、

役企業人 役所などで地域興を考えていくことも出る。